

2024 / 春 / No.120
SU
来ぶらり

MOVE!

身体もココロも、頭も動かそう!

キャンパスライフの中心となる大学図書館

新生の皆さん、入学おめでとうございます! 新しい友人や先生たちとの出会い、専門の学習、部活動やサークル、アルバイト、留学など、様々な大学生活のシーンを、楽しく思い描いていることと思います。

その大学生活の1シーンに間違いなくあるのが、大学図書館にいて本を読んでいる姿でしょう。実は、学習院大学図書館は、昨年度、新しく建て替わった出来立てホヤホヤの図書館です。キャンパスの奥に鎮座するこの大きな新図書館は、単に本を読んだり、借りたりするだけの場所ではありません。朝から晩まで、様々な活動が行える、まさにキャンパスライフの中心的施設です。

まず、1、2階は、広大な自習室やラウンジを備えるコミュニケーション・ゾーンです。おしゃれなカフェもあります。4階はラーニングcommonsやセミナー室となっており、ゼミナールや学生同士の勉強会、部活、サークルなど、学生生活の様々な活動に使えます。もちろん、2階から11階は、膨大な蔵書を備える図書スペースで、好きなだけ新刊書、新刊雑誌、専門書を読むことができます。

大学に来たら、まずはぶらりと図書館に来て、今日1日の計画を思い描く。授業の合間合間に立ち寄り、授業後はお気に入りの席でたっぷり勉強する。声が出せるスペースで友人同士教え合って結構です。また、部活やサークル、ゼミナールの活動の場として、大人数で利用することもできます。息抜きに、新刊書や新刊雑誌を手取るのも楽しいでしょう。様々な出会いや発見に満ちた図書館ライフが皆さんを待っています。

図書館長 鈴木 亘



MOVE!

身体もココロも、頭も動かそう!

春は大学入学や新しい授業など、何かと「一步を踏み出す」季節。
夏にはオリンピック・パラリンピックが控えています。
スポーツでも散歩でも、または思索の旅に出るのもあり。
いろいろな形で、身体もココロも、頭も動かしてみませんか。

日本のスポーツ史を知ろう! 秩父宮記念スポーツ図書館

「スポーツの宮様」として親しまれた秩父宮雍仁親王殿下を記念して、1959年に日本で初めてのスポーツ専門図書館として開設。2022年4月に千葉県船橋市に移転しました。スポーツの歴史に重点を置いて資料を収集されており、特にスポーツ雑誌のバックナンバーが充実しているとのことです。

- ・閲覧は事前予約が必要です(開館は毎週木曜日10~12時及び13~16時)。
- ・詳細は以下のWebサイトでご確認ください。

<https://www.jpnsport.go.jp/muse/library/tabid/146/Default.aspx>



『Sho-Time : 大谷翔平メジャー120年の歴史を変えた男』

ジェフ・フレッチャー著、タカ丸丸訳
徳間書店
大学図書館3F Best/2022

日本を代表するプロ野球選手である大谷翔平選手は、MLBを代表する選手になりました。MLBのルーキーイヤーから1,460日に亘る密着取材により、二刀流選手として規格外の活躍を続ける大谷選手を知ることができます。



『風が強く吹いている』

三浦しをん著
新潮社
大学図書館3F Bunko/Mi67

箱根駅伝を目指す、大学生たちの挑戦を描いた小説。読んだらきっと主人公やチームのみんなと一緒に走っているような気持ちになれるはず。スポーツの物語で熱くなるのもいいですね。



『スポーツの世界史』

デイビッド・G・マコーム著、中房敏朗、ウエイン・ジュリアン訳
ミネルヴァ書房
大学図書館5F 780.2A/Ma13s

野球、サッカー、柔道やF1、その他の競技の歴史を通して見た世界史がコンパクトにまとまっています。また女性とスポーツ、戦争とスポーツ、人種差別とスポーツなど、現在の問題点も取り上げています。



大学図書館5階の閲覧席から

『スポーツの日本史 : 遊戯・芸能・武術』 (歴史文化ライブラリー ; 580)

谷釜尋徳著
吉川弘文館
大学図書館5F 780.2A/Ta87s

近代スポーツだけでなく、武道や相撲や蹴鞠、またそれ以前の歴史まで遡り、日本文化の発展とともに進化してきた日本におけるスポーツとはどのような意味を持つのかを解説しています。

『パラリンピック大百科』

日本障がい者スポーツ協会協力、コンデックス情報研究所編著
清水書院
大学図書館5F 780.6A/Su89p

今年パリパラリンピックが開催されます。車いすバスケットボールを観戦したことがありますが、独自の競技ルールがあり、それを知ることで更に試合を楽しむことができました。パラスポーツを知って選手を応援しましょう!



『スポーツの経済学 : スポーツはポストモダン産業の旗手となる』

小林至著
PHPエディターズ・グループ
大学図書館5F 780A/Ko12s

日本のスポーツ産業の規模は欧米に比べ低い数値ですが、市場が縮小していく日本においては成長産業として位置付けられる楽しみな業界です。スポーツに関わる仕事に興味のある方はぜひ一読ください!

『サーフィン・スケートボード・バルクール : ライフスタイルスポーツの文化と政治』

ベリンダ・ウィートン著
ナカニシヤ出版
大学図書館5F 780.13A/W66s

「ライフスタイルスポーツ」と呼ばれる新しいスポーツは公共空間を利用して行われ、メディアによって拡散されてきました。これらは文化なのか?スポーツとして管理、統制されていくことで何か変化があるのか?社会問題も絡めて解説した本。



スポーツ好きさんにおススメ! 大学図書館2F Grove Lounge

『Number : sports graphic』を初め、競技に特化した雑誌も置かれています。勉強の合間の息抜きにどうぞ。
新聞コーナーには『日刊スポーツ』もあります!



言わずと知れたNumberは「スポーツグラフィック」の名のとおりにカッコいい写真が満載。中には「F1」「将棋」などが表紙になったことも。

大学の部活動がある競技を中心に、専門誌を置いています。映画や舞台、音楽など文化部系の専門誌もあります。



当日の新聞がずらりと並ぶ中、スポーツ紙(日刊スポーツ)が!



『eスポーツ社会論』

川又啓子編著、菊地映輝、権純鎬、北條大和著
同友館
大学図書館5F 798A/Ka95e

今や学校教育や自治体、医療機関などにも広がりを見せるeスポーツ。ビジネスとしてだけでなく、社会的影響も大きくなってきたeスポーツの「今」を知りたいなら。

『ダンスの歴史 : ヴィジュアル版 : 宮廷ダンスからブレイキンまで』

ロバート・ヒルトン著、高尾菜つこ訳
原書房
大学図書館5F 799A/H99d

パリオリンピックで、ブレイキンが競技種目に採用されました。この本ではさまざまなジャンルのダンスの発祥と歴史を知ることができます。ダンスは本来、どこでも誰でも、踊れるもの。勉強に疲れたら、楽しい音楽とともに、踊って身体を開放してみるのもおススメですよ。



グループ学習室と個人学習室のご紹介

図書館にはグループ学習室(4階に4部屋)と個人学習室(7階に8部屋)があり、専用WEBサイトから空き状況を確認して予約・利用することができます。グループ学習室はゼミ仲間やサークルでの討議に、個人学習室は一人で集中して学習したいときに活用できます。部屋ごとに特徴があるので、好みの部屋を見つけてみてはいかがでしょうか？

予約時間などの詳細については、大学図書館WEBサイトにてご確認ください。ご利用の際は、皆さまが快適に過ごせるよう、利用ルールを遵守して利用してください。



グループ学習室

〈大学図書館WEBサイト:
利用ルールはこちらから〉



<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/service/use.html>

〈学習室予約サイト:
空き状況の確認・予約はこちらから〉



https://ebwebreserve2.tackport.co.jp/eboothweb_gksi/areainfo/login



アドミッションセンター
芹澤 弘樹 さん

私の本棚は、サッカーに関わる本ばかりです。私は、幼少期から父親の影響を受け、サッカーに出会い、尽力してきました。スポーツに必要な能力とは、心技体といったメンタル、スキル、フィジカルその他、遺伝や環境要因等も関係しています。一方で、自身の能力向上といった捉え方ではなく、勝つための哲学やプロフェッショナルとはどうあるべきか、勝負どころのヒントを考える際に参考としていた本を記憶しています。その中でも興味深かった本は、『勝負哲学(岡田武史/羽生善治)』です。

「努力の積み重ねが直感力を発達させ、論理を超える」
「組織として結果を出すためには、個々の資質を活かし、その才能を連動させることが必要である」この言葉によって、私は、勝つための本質を学んだ気がします。スポーツだけではなく、仕事に取り組む際のマインドの参考にもなっており、今でも忘れられない言葉です。このように、本を読んで先駆者の言葉を知ったことが、自身を前進させるための礎となっており、自身の考え方を築くうえで重要なことだと思っています。これからも、自身が想う本を探し、人としての幅を広げたいと思います。



来ぶらり No.120 2024年4月12日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者：鈴木亘教授 編集委員：山脇治・遠山有紀

総合カウンター(内線 2397)：☎ 03-5992-1009(直通) レファレンスカウンター(内線 2396)：☎ 03-5992-9249(直通)

「来ぶらり」のバックナンバーは (<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>) で公開しています。

ISSN 2186-6724